

12月市議会
質問から

公共料金値上げはやめよう 鈴木たくや議員 の質問

今回は、12月市議会でおこなわれた質疑のうち、鈴木たくや議員がおこなった公共料金についての一般質問の内容をお伝えします。



きびしい市民の暮らしの実態

(鈴木)「総務省の調査では、完全失業者率(10月・季節調整値)は4.5%で、前月に比べ0.4ポイントの悪化、また、勤労者世帯の実収入(10月)が前年同月比、実質2.8%減少しているなど、暮らしの実態は相変わらずきびしいものがあります。

私たち日本共産党市議団がおこなっている市民アンケートには、現在150通ほどの回答がよせられていますが、『あなたの最近の生活はいかがですか?』の問いには、よくなった0.8%、変わらない41.0%、悪くなった55.0%、との回答がありました。

これは、1年前の同じ問いに対する回答と比べると、よくなったがマイナス1.2ポイント、変わらないがマイナス3.4ポイント、悪くなったがプラス8.2ポイントです。厳しい市民の暮らしぶりが浮き彫りになっています。」



示される値上げ、有料化の方向 市民に極力負担を転嫁すべきでない

(鈴木)「こうした下、羽村市も税収が減り、財政が厳しさを増しています。そして、それらを背景にして、現在示されている第五次長期総合計画(案)の中では、さまざまな公共料金の値上げ、有料化の方向が示されています。

私たちも、『何が何でも公共料金値上げは駄目』という立場に立っているわけではありません。財政の健全性を保ち、住民サービスを持続的に提供することは自治体の大切な仕事です。

しかし、羽村駅西口区画整理事業など、一方で市民から批判の多い事業に多額のお金を使いながら、その一方で公共料金を値上げする、という対応は許されるものではありません。

まずは、市民の声に反する事業は見直す、行政の内部努力を徹底するなどをおこない、極力、市民に負担を押し付けない立場に立つべきです。以下、具体的に質問します。」

/国民健康保険 /

(質問)国民健康保険の加入者の所得はどう推移しているか?

(市長)1世帯あたりの総所得金額は、平成21年度・約186万8千円、平成22年度・164万5千円、平成23年度・約162万7千円となっている。

「羽村市国民健康保険運営協議会」から 税率引き上げの答申出される

12月20日に羽村市国民健康保険運営協議会から並木市長あてに出された答申書では、所得割を現行の7.1%から7.7%へ、均等割を現行の3万8800円から4万1800円へと引き上げることが適当としています。

1人平均の引き上げ額は、年間6千11円(8.5%)。年間所得100万円の二世帯では、現行の10万9500円から11万8300円へ8,800円の引き上げ、所得300万円の二世帯では、26万7000円から28万9000円へ2万2000円の引き上げと試算しています。

市税収入が落ち込むもと、増加する医療費の財源を一般会計からの繰り入れに求めることは極めて厳しい状況である、などが引き上げの理由とされています。



1月11日 商工会の新年祝賀会に参加。
内需が冷え込み、円高の影響も大きい中、

何とかして活路を切り開きたいとの思いが充満していた。中小企業の経営者からは、海外に進出するのではなく、市内で雇用を維持するため努力している話などを聞く。市としても何ができるか、うんと考えたい。(鈴木)

1月14日「放射線被害から子どもを守る会 はむらっこ」のお茶会に参加。東北のがれきの受け入れについて、食品の放射線量測定について、どう安全性を確保するか熱心に意見が交わされる。続いて駅前での住民投票条例を求める署名活動にも参加。多世代にわたる反応の大きさを感じた。(倉田)

羽村民報

2012年1月22日
No.1030

発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市委員会は、以上の報道をおこないました。 電話 579-2132

<裏面へ続く>

(質問) 国民健康保険税を、羽村市は引き上げたいと考えているのか？上げるべきではないのでは？

(市長) 国民健康保険は、保険税と、国庫支出金等を歳入としており、持続的な制度の運営には、給付と負担の適正化を図って行くことが基本となっている。

このことから、運営協議会からの「国民健康保険税の適正化」についての答申を受けて、判断していく。

(質問後、運営協議会は答申を示しました。表面記事。)

/駅前自転車置き場 /

(質問) 自転車駐輪場の有料化が示されているが、無料のままにすべきではないか？

(市長) 近隣自治体の自転車駐輪場は、有料化が一般的になってきており、小作駅周辺では、他市の自転車が多く駐車している実態などを踏まえると、有料化についての検討が必要であると考えている。

しかし、市の自転車駐輪場の用地は、市有地が少なく、ほとんどが東京都や民有地の借り上げによるものとなっており、様々な課題を検討していかなければならない。

/水道料金 /

(質問) 水道料金の改定が示されているが、引き上げはおこなうべきではないのでは？

(市長) 現行の料金は、平成14年4月に改定して以来据え置いており、使用水量の減少により、収益が減少傾向にある。

一方、安全でおいしい水を安定供給するため、管路の耐震化など、施設更新のための財源や維持管理費を確保しつつ、健全な経営を維持するために、収支推計をおこない、適正な料金について検討していく。

/公共施設駐車場 /

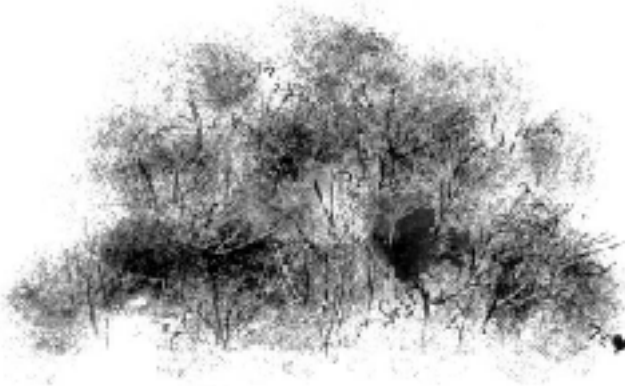
(質問) その他、具体的に値上げ、有料化を検討しているものはあるか？

(市長) 有料化については、公共施設駐車場の有料化を検討しており、条件の整った施設から順次、導入していく考えだ。

羽村駅西口区画整理の見直しこそ

(質問) 財政の厳しさが、公共料金の値上げ、有料化の理由になっているが、それであれば、多くの市民から見直しの声があがりつづけている羽村駅西口土地区画整理事業を見直し、お金のかかりすぎない計画へ切り替えることが先決ではないか考えるが、どうか？

(市長) この事業は、安全、便利で快適な都市をめざし、将来の羽村市の発展をみすえて取り組んでいる。事業推進にあたっては、確実な財政計画を立てて対応していく。



鈴木議員



賃金は落ち込んだまま、年金は減る一方、若者は職につくのさえ大変、というもとで、国では消費税増税、市では様々な公共料金の値上げが示されるに至っています。ぜひ、これらの負担増は道理があるものなのか、よく見極めて、声をあげていきましょう。

再質問では、国民健康保険については、被保険者の暮らしがますます厳しいものになっていること、他の医療保険と比べても保険料が高いこと、羽村市以上に保険料を低くおさえるために税金を投入している自治体があることなどを指摘しました。

また、自転車置き場有料化については、平成10年から有料化した福生市の例をとり、有料化はコストもかかり、あまり経費は減らないこと、エコな乗り物である自転車の使用を抑制する可能性があることなどを指摘しました。また、355億円を投入する羽村駅西口区画整理事業を見直すことこそ、最優先の課題であることを指摘しました。

財政きびしい今を、より市民の声に沿った税金の使い方に切りかえるチャンスにするため、そして、市民の暮らしを守るため、ひき続き、追求を続けていきます。

今回の無料法律相談は2月13日
(月)午後1時半からです。電話でお申し込みください。

・鈴木たくや 080-1058-9450

・倉田まなぶ 080-3460-0064 まで。

紙面へのご意見、ご要望などぜひお寄せください。
(080-1058-9450鈴木まで)